

Ⅲ 生涯学習, 地域の文化

○生涯学習・社会教育

○地域の自然・歴史・文化の重視

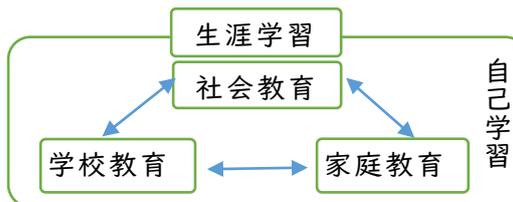


(1) 生涯学習とは

生涯学習ということばは、いくつかの意味で使われているが県民のみなさんの学習活動という視点から捉えると、生涯学習とは「人が生涯にわたって学ぶこと、乳幼児期から高齢期まで、生涯のあらゆる時期に行われる学習活動」という意味になる。

(2) 社会教育とは

社会教育とは「学校・家庭以外の広く社会で行われる教育」で、身近なところでは、公民館や青少年の家など公的な施設での講座や青少年教育向け事業、大学等で行われる公開講座、民間で行われる通信教育、カルチャースクールなども社会教育の中に入る。



(3) 生涯学習における教師の姿勢

変化の激しい社会を担う子供たちに必要な「生きる力」を育成していくことが大切である。学校の枠にとどまることなく、家庭や地域社会との連携・協力関係を築く教育環境づくりが必要である。大切なことは教師自ら学習しようとする意欲を持ち続けることである。それが子供たちに伝わり、学ぶ意欲をはぐくみ、「社会を生きぬく力」の育成につながるのである。



(生涯学習の充実)

- 1 生涯学習推進体制の整備
- 2 生涯学習指導者等養成事業
- 3 社会教育士の育成
- 4 おきなわ県民カレッジ
- 5 沖縄県生涯学習情報提供システム及び沖縄県遠隔講義配信システムの充実

(青少年の健全育成)

- 1 SDGs 達成のための教育推進事業
- 2 「おきなわ地域教育の日」の広報・啓発
- 3 地域学校協働活動推進事業
- 4 放課後子ども教室推進事業
- 5 家庭教育支援事業
- 6 家庭教育支援者研修会
- 7 人権教育促進事業
- 8 御万人すりていクリーン・グリーン・グレイシャス(CGG)運動の推奨

(社会教育の充実)

- 1 県立図書館の充実事業
- 2 子どもの読書活動推進事業
- 3 離島読書活動支援事業
- 4 青少年教育施設等の充実
- 5 社会教育指導者等研修事業
- 6 視聴覚ライブラリー
- 7 沖縄県社会教育研究大会等の開催
- 8 公民館研究大会等の開催

(その他の社会教育活動の充実)

- 1 沖縄県社会教育関係団体等連絡会
- 2 沖縄県社会教育委員連絡協議会
- 3 沖縄県公民館連絡協議会
- 4 沖縄県ユネスコ協会
- 5 地域づくりの担い手となる人材育成推進事業

■関連資料■

◎『沖縄県読書バリアフリー計画』	沖縄県教育委員会	令和7年
◎『生涯学習推進センター利用案内・年間パンフレット』	沖縄県教育委員会	令和7年
◎『第五次沖縄県子どもの読書活動推進計画』	沖縄県教育委員会	令和6年
◎『学校・家庭・地域の連携協力推進事業実践事例集』	沖縄県教育委員会	令和6年
◎『第四次沖縄県生涯学習推進計画』（令和4年度～令和13年度）	沖縄県	令和4年
◎『住民相互のつながりを図る学びの場としての公民館の役割～地域の特性を生かした持続可能な地域づくりを目指して～』（提言）	沖縄県社会教育委員の会議	令和4年
◎『新しい時代の生涯学習の広がりや充実に向けて～生涯学習の機会の促進等について～』（答申）	沖縄県生涯学習審議会	令和4年
◎『家庭教育支援をすすめるためにできることからはじめよう』	沖縄県教育委員会	令和3年
◎『活用しよう！夢実現親のまなびあいプログラム』バインダー形式	沖縄県教育委員会	令和2年

■関連事項■



生涯学習・社会教育関連施設

市町村公民館内訳数					施設	箇所数	
公民館	中央公民館	8	6	9	23	県立図書館	1
	分館	4	1	1	6	市町村立図書館	39
	地区館	12	23	24	59	県立青少年教育施設	6
公民館 類似施設	市町村設置	3	7	16	26	沖縄県視聴覚 ライブラリー	1
	自治公民館	634	178	148	960	地区市町村視聴覚 ライブラリー	6
						博物館・美術館	20
						(その他市町村等施設)	

生涯学習・社会教育関係団体

沖縄県高等学校PTA連合会	(一社)ガールスカウト沖縄県連盟
(一社)沖縄県PTA連合会	沖縄県ユネスコ協会
(一社)沖縄県子ども育成連絡協議会	沖縄県社会教育委員連絡協議会
(一社)沖縄県女性連合会	沖縄県社会教育指導員連絡協議会
沖縄県青年団協議会	(公社)沖縄県青少年育成県民会議
沖縄県公民館連絡協議会	(公財)沖縄県老人クラブ連合会
(一財)日本ボーイスカウト沖縄県連盟	沖縄県特別支援学校PTA協議会

「おきなわ地域教育の日」の推進

- 「おきなわ地域教育の日」(毎月第3土曜日)
県民総がかりで「地域の子は地域で守り育てる」
気運の醸成を図るため、平成22年4月より沖縄県
社会教育関係団体等連絡会が推奨している。
- 御万人すりていクリーン・グリーン・グレイシャス(CG
G)運動を支援する。
推奨期間:4月~翌年3月
強化期間:12月(地域の実情に応じて設定)

放課後子ども教室推進事業

すべての子どもを対象として、安心・安全な居場所を
設け、地域の方々の参画を得て、学習やスポーツ文化活
動、地域住民との交流活動等の取組を推進する。

家庭教育支援事業

地域の子育て経験者や民生委員・児童委員など身近
な人たちと専門家との連携による「家庭教育支援チ
ーム」の結成支援を行う。

家庭教育支援者研修会

家庭教育を支援する方々の資質向上を目的に、より実
効性のある取組を進める。子育てを地域ぐるみの取組と
して、より一層の充実を図る。家庭教育支援者研修会を
6地区教育事務所で開催し、家庭教育支援に携わる人
材のスキルアップを図る。

地域づくりの担い手となる人材育成推進事業

地域を支える社会教育団体が行う社会教育
事業に対して補助金を交付することにより、社
会教育の充実及び青少年の健全育成を図る。

社会教育主事講習[B]沖縄会場の実施

社会教育主事となる資格を取得させるため
に、国立教育政策研究所社会教育実践研究セ
ンターが行う講習について、県生涯学習推進セ
ンターで受講機会を提供する(1~2月)。

おきなわ県民カレッジ

国、県、市町村及び大学等で実施している生
涯学習に関する講座等を体系化し、県民に遠隔
講義配信システムを通し学習機会を広域的・効
果的に提供する。

視聴覚ライブラリー

学校や社会教育施設の団体等を対象に視
聴覚教材や機材を無料で貸し出す。

地域学校協働活動推進事業

地域と学校が連携・協働し、地域全体で未来
を担う子どもたちの成長を支えていく様々な活
動を推進する。
研修会:年3回実施。講演、実践発表等予定
対象者:コーディネーター、学校関係者、ボラン
ティア他

地域連携担当教員等研修会

学校・家庭・地域を結びつける校内コ
ーディネーターとなる地域連携担当者の資質向上を図る。
研修会:各教育事務所等で開催予定

「読書活動」の推進

- 毎月第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」を
推進する。
- 「子ども読書の日」を記念した取組を実施する。
- 「文字・活字文化の日」を記念した取組を実施
する。
- 読書活動優秀実践教育長表彰を実施する。
- 高校生読書リーダー育成研修を実施する。

人権教育指導者研修会

人権教育の実践的研修を通して、人権に関
する今日的な課題に対応できる指導者として
の資質の向上を図り、各現場における人権教
育の新たな展開につなげる。
研修会:年1回実施
対象者:学校教育、社会教育、福祉関係者他

SDGs達成のための教育推進事業

持続可能な開発のための教育(ESD)推進
のための研修会等を実施する。
研修会:年1~3回実施
対象者:公立学校初任者、中堅教諭
※「ユネスコスクールの募集」も随時行う。

地域の自然・歴史・文化の重視



本県は、亜熱帯海洋性気候のもと、豊かな自然と特色ある歴史や文化が育まれてきた。このような歴史や伝統文化の継承・発展と豊かな感性を育む文化の振興を目的として、県教育委員会では主要施策の一つとして沖縄文化の保存・継承・創造と更なる発展に取り組んでいるほか、文化庁や文化財団、市町村教育委員会及び学校等との共催により、以下の各種事業を展開している。各学校においては、特別活動や関連する教科等で積極的に文化財や支援事業等を活用し、文化芸術活動及び伝統芸能や文化財愛護の推進に取り組むことが望ましい。



特別活動や関連する教科等で実施可能な文化活動事業一覧

(1) 舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）

- 主 催：文化庁
- 実施内容：国が優れた文化芸術団体を選定し、小学校・中学校等の授業において実演芸術公演を実施する。
公演の実施にあたっては、鑑賞と合わせて文化芸術団体と児童生徒の共演又は体験を行う。
- 公演演目：合唱、オーケストラ、音楽劇、演劇、ミュージカル、バレエ、現代舞踊、歌舞伎・能楽、人形浄瑠璃、邦楽、邦舞、演芸、メディア芸術(映像、メディアアート等)
- 募集期間：12月～1月(通知決定は4月、実施は5月以降)
- 対 象：小学校、中学校、高等学校、特別支援学校(小学部・中学部)



(2) 学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業

① 芸術家の派遣(学校申請方式)

- 主 催：文化庁
- 実施内容：個人または少人数の芸術家を派遣し、講話、実技披露、実技指導を行う。
- 派遣分野：音楽、演劇、舞踊、大衆芸能、美術、伝統芸能、文学、生活文化、メディア芸術
- 募集期間：9月～10月(決定通知は4月、実施は5月以降)
- 対 象：小学校、中学校、高等学校、特別支援学校



② 子供・夢・アート・アカデミー

- 主 催：文化庁
- 実施内容：日本芸術院会員が、講師として、小・中・高等学校等を訪問し、講話、実技披露、実技指導を行う。
- 実施分野：美術、文芸、音楽、演劇、舞踊
- 募集期間：9月～10月(決定通知は4月、実施は5月以降)
- 対 象：小学校、中学校、高等学校、特別支援学校(小学部・中学部・高等部)、中等教育学校

(3) 児童生徒の組踊等沖縄伝統芸能鑑賞会（組踊・沖縄芝居ワークショップ）

- 主 催：沖縄県教育委員会
- 目 的：県内の児童生徒を対象に無形文化財である組踊や沖縄芝居等沖縄伝統芸能を鑑賞・体験する機会を提供することで、本県独自の郷土芸能への理解と関心を深めさせることにより、「心の教育」に寄与する。
- 上演種目：組踊及び沖縄芝居等沖縄伝統芸能
- 募集期間：4月～5月頃、実施は10～12月頃



(4) 文化財愛護事業（「私たちの文化財」図画作品募集）

- 主 催：沖縄県教育委員会
- 目 的：県内の児童生徒を対象に、文化財をテーマにした図画作品を募集し、その制作をとおして児童生徒が地域の文化財に興味・関心を持ち、文化財保護・愛護思想の高揚を図ることを目的とする。
- 募集期間：5月中旬～9月中旬頃
- 対 象：小学校、中学校、高等学校、特別支援学校
- そ の 他：入賞作品は、11月の「教育・文化週間」並びに「文化財保護強調週間」の一環として開催する「私たちの文化財」図画作品展示会において展示するとともに、最優秀作品の中から2点を文化財保護強調週間ポスターの原画として採用する。

■関連資料■

・書籍（各小・中・高等学校・特別支援学校の図書館等に配布済み）

- | | | |
|----------------------------|----------|-------|
| ◎『みんなの文化財図鑑 天然記念物編』 | 沖縄県教育委員会 | 令和4年 |
| ◎『みんなの文化財図鑑 無形文化財編・民俗文化財編』 | 沖縄県教育委員会 | 令和3年 |
| ◎『みんなの文化財図鑑 有形文化財編』 | 沖縄県教育委員会 | 令和2年 |
| ◎『みんなの文化財図鑑 埋蔵文化財編』 | 沖縄県教育委員会 | 平成31年 |
| ◎『みんなの文化財図鑑 史跡・名勝編』 | 沖縄県教育委員会 | 平成30年 |

・参考となるホームページ

- ◎「沖縄の歴史と文化」
沖縄県教育委員会
ホームページ



- ◎「文化遺産オンライン」
文化庁ホームページ



(令和8年度版)

令和5年度～令和9年度

学校教育における指導の努力点

発行月 令和8年3月

発行 沖縄県教育委員会

〒902-8501 沖縄県那覇市寄宮1丁目2番16号

TEL 098-866-2741 FAX 098-866-2750

ホームページ <https://www.pref.okinawa.jp/kyoiku/edu/>

〔沖縄県教育委員会〕
